

ちゅうこうようゆうがいえんたいごう ちゅうがたきよう えんたいごう  
**中攻用有蓋掩体壕 (中型機用の掩体壕)**

えんたいごう せんそう てき ばくげき ほうげき  
 掩体壕とは戦争における敵からの爆撃や砲撃  
 じゅうげき ばくこうどう みかた ひこうき しやりょう  
 ・銃撃などの破壊行動から味方の飛行機・車両・  
 ぶつし じんいんとう まも おお かこ  
 物資・人員等を守るために、それらを覆う・囲う  
 もくてき つく  
 目的で造られたものです。コンクリートや土嚢・  
 どべい かん つち つく など つく きゅう  
 土塀・ドラム缶に土を詰めたもの等で造られ、旧  
 かいぐんみやざき きち げんざい みやざきくこう しゅうへん ちゅう  
 海軍宮崎基地（現在の宮崎空港）周辺には、中  
 がたきよう こがたきよう すうき えんたいごう つく  
 型機用・小型機用あわせて50数基の掩体壕が造  
 られました。

えんたいごう おお わ やね ゆうがいえんたい  
 掩体壕には大きく分けて、屋根がある有蓋掩体  
 ごう やね むがいえんたいごう しゅるい  
 壕と、屋根がない無蓋掩体壕の2種類があります。  
 ゆうがいえんたいごう せい がた ひ  
 有蓋掩体壕はコンクリート製のかまぼこ型で、飛  
 こうき おお きょうこ つく いっ  
 行機を完全に覆う強固な造りとなっています。一  
 ぼう むがい えんたいごう つち も あ つく どべい  
 方で、無蓋掩体壕は土を盛り上げて造った土塀で  
 ひこうき かこ  
 飛行機を囲っただけで、コンクリート製の有蓋掩  
 たいごう くら ぼうぎよりょく めん じゃっかんおと つく  
 体壕と比べると防御力の面で若干劣りますが、造  
 て ま しざい じかん さくげん じじつ みやざき  
 る手間と資材・時間は削減されます。事実、宮崎  
 きち えんたいごう やく わり むがいえんたいごう  
 基地の掩体壕の約7割は無蓋掩体壕でした。

みやざき きち おも りくこう りくじょうこうげき  
 宮崎基地は主に陸攻（陸上攻撃機。エンジン  
 がたきよう ちゅうがたきよう ちゅうこう ちゅうこう  
 が2基の中型陸上攻撃機を指し、中攻とも呼ばれ  
 る。）を運用する基地であったため、戦闘機等が  
 しょう こがたきよう えんたいごう  
 使用する小型機用の掩体壕は5基のみで、残りは  
 すべ ちゅうがたきよう えんたいごう  
 全て中型機用の掩体壕でした。

せんご つち も むがいえんたいごう そうそう  
 戦後、土を盛っただけの無蓋掩体壕は早々に  
 とりこわ  
 取り壊されましたが、コンクリート製の有蓋掩体  
 せい ゆうがいえんたい  
 壕は、その堅固さから現在も6基（本郷地区の中  
 がたき あかえ ちく けんざい ほんごう ちく ちゅう  
 型3基と赤江地区（空港西側）に残る小型3基）  
 がたき かんぜん じょうたい のこ  
 がほぼ完全な状態で残っています。

**中攻用掩体壕を主に使用した機体**



**アクセス**

- 宮崎自動車道「宮崎IC」から車で約5分
- 宮崎空港から車で約8分
- JR九州・日南線「南方駅」から車で約3分（徒歩約20分）



ほんごう ちく えんたいごう  
**本郷地区掩体壕**



所在地：宮崎市大字本郷南方  
 字西迫5468番154 ほか



**宮崎市 総務部 総務法制課**

〒880-8505  
 宮崎県宮崎市橘通西1丁目1番1号  
 TEL 0985-21-1721 FAX 0985-21-8070  
<http://www.city.miyazaki.miyazaki.jp/>  
 E-Mail : 03soumu@city.miyazaki.miyazaki.jp

宮 崎 市

# 本郷地区掩体壕周辺空撮

えんたいごう が掩体壕。現在の道路にも、ゆうどうろ なごり 誘導路の名残が見られる。



↑ 現在

↓ 1945年(昭和20年)5月 米軍艦載機空襲時



資料提供・模型製作：南九州文化研究会 戦史研究家 稲田哲也氏 協力：航空戦史研究家 織田祐輔氏

# 近隣の掩体壕など

※ 見学の際は、私有地に立ち入らないようご注意ください。



赤江地区の掩体壕  
 ・小型機用の有蓋掩体壕  
 周辺に3基が現存している  
 ・本郷地区掩体壕から車で約8分

弾薬庫  
 ・対空機関銃の弾薬や弾倉が保管されていた  
 ・本郷地区掩体壕から車で約7分

